中学地理プリント（書き取り）
日本の資源と産業 No.4

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／21

1. 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 愛知県を中心に広がり、豊田市などに自動車工場が集まる、太平洋ベルトの中心にある工業地帯を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 日本の海面養殖業で盛んに生産されており、食卓でも身近な海藻類を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 近郊農業において、収穫した作物を短時間で市場へ届けるために主に用いられる輸送手段は何？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
20. 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
21. 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の資源と産業」のプリント一覧がひらきます